

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	坂田 郁子	職名	教授	学位	修士 (人間環境学) (福岡女子大学大学院 2010 年)
----	-------	----	----	----	-------------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
公衆栄養学	食環境整備、生活習慣病予防、地域包括ケアシステム

研究課題
1. 健康的な食生活を送れるよう、健康無（低）関心層も含めて自然に健康になれる食環境整備について考察する。 2. 「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」を普及するため、配食サービスの実態を調査し、健康支援型配食サービスのあり方について考察する。

担当授業科目
公衆栄養学Ⅰ (後期) (栄養学科)
公衆栄養学Ⅱ (前期) (栄養学科)
公衆栄養学実習 (後期) (栄養学科)
地域栄養活動論 (後期) (栄養学科)
臨地実習Ⅲ (後期) (栄養学科)
管理栄養士演習Ⅱ (前期・後期) (栄養学科)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<b>授業科目名【公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ】</b> 集団や地域の健康・栄養改善のために、栄養課題やニーズを把握し、対象集団の特性に応じて、適切な栄養関連サービスを提供する公衆栄養プログラムの作成、実施、評価・フィードバックするための知識や方法を修得させるため、自治体で実施されている実践事例を紹介し公衆栄養プログラムへの理解を深めた。
<b>授業科目名【公衆栄養学実習】</b> 公衆栄養学Ⅰ・Ⅱで修得した知識・技術を基に、地域診断、既存資料の活用、文献検索を行い、グループ毎の主体的な取組みを尊重しながら、PDCA サイクルに基づいた公衆栄養プログラムが作成できるように指導した。
<b>授業科目名【地域栄養活動論】</b> 地域のあらゆる場面で活躍する管理栄養士の業務について解説を行い、管理栄養士の役割や多職種連携について理解させるとともに、臨地実習Ⅲに臨むための基礎知識の修得に努めた。
<b>授業科目名【臨地実習Ⅲ】</b> 実習期間中に実施される実習課題内容を事前に確認し、課題への指導を徹底して行い、臨地実習が有意義なものとなるように取り組んだ。臨地実習の巡回時には、実習での学びが今後の授業や職業選択に活かされるように、実習中の学生への助言を行った。また、今年度はコロナ緊急事態宣言が延期されたことにより、2週間前から健康管理の記録、自粛行動を遵守させ実習を終えることができた。
<b>授業科目名【管理栄養士演習Ⅱ】</b> 管理栄養士国家試験教科「公衆栄養学」分野の出題傾向およびポイントを理解するために、国家試験の過去問題を分析し、出題傾向に的を絞った問題を作成し解説を行った。また、苦手な問題は何度も練習問題を解かせ、克服することに努めた。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
福岡県公衆衛生学会 日本栄養改善学会 日本公衆衛生学会 日本在宅栄養管理学会		1987年2月～現在に至る 2005年3月～現在に至る 2006年5月～現在に至る 2018年5月～現在に至る

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者 ( ) 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
北九州市学校給食審議会	委員	2020年7月1日 ～2022年6月30日
公益社団法人福岡県栄養士会	第46回福岡県栄養改善学会 座長	2020年10月10日

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)	
就職委員会 委員	2020年4月1日～2021年3月31日